

## 第4回総合教育会議

日 時 平成28年2月9日(火) 午後1時00分～午後1時35分

場 所 801会議室

出席者 21人

### 総合教育会議構成員

市長	西岡 真一郎
教育長職務代理者	鮎川 志津子
教育委員	福元 弘和
教育委員	渡邊 恭秀
教育委員	岡村 理栄子
教育長	山本 修司

### 関係者

学校教育部長	川合 修
生涯学習部長	西田 剛
庶務課長	河田 京子
学務課長	鈴木 剛
指導室長	小林 正隆
生涯学習課長	石原 弘一
公民館長	前島 賢
図書館長	上石 弘美
指導室長補佐	高橋 良友
庶務係長	中島 良浩

---

### 事務局

企画財政部長	河野 律子
企画政策課長	水落 俊也
企画政策課長補佐	中田 陽介
企画政策課主任	津田 理恵
企画政策課主事	高野 修平

---

傍聴者 1人

(午後1時00分開会)

◎西岡市長 皆さん、こんにちは。定刻になりましたので、ただいまから平成27年度第4回小金井市総合教育会議を開催いたします。

なお、私は昨年12月18日より小金井の新市長、第10代目に就任をさせていただきました、西岡真一郎でございます。どうぞよろしく願いいたします。

本日は、私の市長就任に当たりまして、教育委員会の皆様からもぜひ総合教育会議の開催というご意向もあり、本日、総合教育会議を開催させていただきました。大変お忙しい中をご出席いただきまして、まことにありがとうございます。

また、教育長、教育委員の皆様には、平素より小金井市の教育行政に多大なるご尽力をいただき、感謝を申し上げたいと存じます。まことにありがとうございます。

進行につきましては、会議の主宰者であります私が務めさせていただきます。

本日、私の市長就任後第1回目なので、順番に自己紹介をしていただきたいと思いますと考えております。まず、私から申し上げさせていただきます。

昨年12月に新市長に就任いたしました西岡真一郎でございます。どうぞよろしく願い申し上げます。生まれは武蔵野市、本籍は武蔵野市でございます。その後、小金井市に移り住み、小金井市立南小、第二中学校を卒業し、都立清瀬高校を卒業いたしました。その後、1年間学業に励み、獨協大学に進ませてもらって、大学卒業後は政治の世界、そして市議会、都議会と、16年間歩んでまいりました。国政スタッフを約4年半、市議会議員として8年、都議会議員として8年、約23年近く、政治の現場でいろいろな学びを得てきました。そして、その後、ご縁がありまして民間保育園の事務長という貴重な保育園の現場で73名の子どもたちと毎日過ごす、貴重な仕事も体験させていただきました。

そして、昨年12月13日の小金井市長選挙で当選させていただきました。

私自身は、小金井のすばらしい水と空気と、たくさんの地域の方々にお育ていただいて、今日まで歩ませていただいたと思っております。特に、私の子どもを振り返ってみますと、もちろん、すばらしい担任の先生にも出会わせていただいて、小学校、中学校ともにいい教育を、いい学びを受けさせていただいたなと思っております。

また、それ以上に、子どもを振り返ってみますと、子供会、町会、自治会、地域の方々にも、本当にたくさんの方々を目を向けていただいて、かわいがっていただいたと思っておりますし、また、小学生のころは南小レッドイーグルスという少年野球チームに所属していましたが、監督、コーチに本当にたくましく育てていただいたなと思っております。

そういう意味では、小金井のすばらしい伝統的な地域の教育力に包まれて、今日まで生きていたんだなど、改めて痛感しておりました。地域の教育力というものを大切にいただければと思います。一生懸命働いてまいります。どうぞよろしく願いいたします。

市長部局と教育委員会の皆様と、本市の教育をさらに充実、発展させていけるよう、連携、協力してまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

それでは、皆様からも一言ずついただければと思います。それでは、鮎川教育長職務代理者、お願いいたします。

◎鮎川教育長職務代理者 鮎川志津子でございます。生まれは国立市でございます。その

後、海外に6年半ほど出ていた後、小金井市に住んでおります。

小金井市は、市長のお話にもありましたとおり、水と緑が豊かなところで、市民の方々も地域も大変すばらしいお力を持っています。教育委員のお仕事をいただいてから、教育委員会の事務局の皆様ともお近づきになることができ、事務局の皆様のすばらしいお人柄にも触れることができ、とてもありがたく思っております。どうぞよろしく願いいたします。

◎西岡市長 ありがとうございます。

続きまして、福元委員、お願いいたします。

◎福元委員 福元です。私は、小金井市には、学級担任だった本町小を振り出しに、東小、一小で教頭を、東小、二小、前原小、一小で校長を務め、合わせて23年、小金井市の学校にお世話になりました。

私が学校にいたころ、新しく小金井に来た先生から、よく、小金井の学校は、教えやすいし、いい地域だね、という言葉を目にしたのを思い出します。教育委員になって、この3月でちょうど2年目が終わるところです。これからも小金井市に少しでも役に立つように努力していきたいと思えます。よろしく願います。

◎西岡市長 ありがとうございます。

続きまして、渡邊委員、お願いいたします。

◎渡邊委員 渡邊恭秀と申します。改めて、よろしく願いいたします。

私も、市長と一緒に武蔵野市生まれで、3歳で小金井に越してきました、小金井幼稚園、それから第一小学校、それから二中ですね、明大中野に行きまして、明治の工学部に行きました。その後、ポピアという会社に入ったんですけど、そこはキャノングループになりまして、キャノンに少しいて、その後、東芝と提携していましたので、東芝の関連会社に数年おりました。その後、実家の渡辺紙器工業株式会社に戻りまして、消防団に2期入っていました。その後、途中で小金井市青年会議所に10年いまして、40歳で卒業してから、先月60歳になりましたけれども、それまではシニアクラブに在籍しておりました。そういう関係で、途中で教育委員をご指名いただきましたので、経験を少しでも市にお役に立てることがあろうかと思ひまして参加しております。よろしく願いいたします。

◎西岡市長 続きまして、岡村委員、お願いいたします。

◎岡村委員 小金井に皮膚科を開業して28年になって、引っ越して21年になりました。私は、開業した当初に、日本臨床皮膚学会というのがあるんですけど、その第1期の学校保健委員というのをやりました。それをおととしまでずっとやっていたんですけど、皮膚科医よ、学校へ行こう、皮膚科医よ、社会に貢献しようというコンセプトで、私は沖縄とかいろいろ行って、直接小学生とかにいろいろお話をしていたりとか、そういうコーディネートをやっていました。

その中で一番気になったのが、「アレルギー疾患の指導表」の導入がすごく遅いというところが問題になって、どうも教育委員会めぐりでなかなか難しいということになって、うーんと

思っていたら、医師会のほうから、教育委員を誰かやってくれないかという話になって、そうだ、教育委員になって、そちらのほうも頑張ってみようと思っておりますが、入ってみると、非常に忙しいし、仕事がいろいろあって大変だなと思って、「アレルギー疾患の指導表」に関しては非常に進んでいるし、アレルギー委員会もありますし、随分進んだと思って安心していません。

ちょっとこの間、市町村教育委員会の協議会に、お勉強会に行かせていただいたんですけど、その講師の先生が教育関係じゃない方で、その先生のお話を聞いていたら、いろいろみんな教育委員会になったんだったら、得意分野への積極的な取組をなささいということと、そしてひたすらわからないことがあったら勉強してくださいということは言われました。本当にいろいろ教えていただいて、すごく自己研鑽にもなりますし、子どもたちが好きなので、頑張っただけからもういきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

◎西岡市長 それでは、山本教育長、お願いいたします。

◎山本教育長 私は、福島に大学の卒業までおりまして、大学を卒業したときに、地元の県立の高等学校の国語の教員か、あるいは東京の中学校の国語の教員かという二者択一になりました。一度はやっぱり田舎を出て都会に出てみたいと思って、東京に出てきて、それからずっともう東京で死ぬことになりそうなんですけれども、暮らしております。

中学校の教員を16年間、その後、教育行政のほうに入りまして、指導主事、指導室長合わせて12年間、その後、校長として戻って2校、9年間、その間に教員で3校、校長で2校、合計5校、中学校で勤務しました。いずれも生活指導に大きな課題のある学校が多かったのですが、小金井市の校長になって、初めて、本当に落ちついて子どもたちが勉強やスポーツや文化活動に取り組む学校というところにめぐり合った、非常に素晴らしいところに来たと思って5年間勤めさせていただき、そしてまた前市長の要請を受けて教育長を務めて、今ちょうど2年をたったところです。素晴らしいところでこの仕事をさせてもらっていることについて、非常に誇りと喜びを感じております。

また、自分の経験を生かして頑張りたいと思いますので、よろしく願いいたします。

◎西岡市長 ありがとうございます。

それでは、議事を進めさせていただきたいと思います。

議題第1号、小金井市の教育についてを議題といたします。議題の小金井市の教育についてと書かせていただきましたが、ご挨拶ということで、各委員の皆様の教育へのお考えや、教育委員としての日々活動されている中で感じていらっしゃるがありましたら、ぜひご発言願いたいと思っております。

それではまず、私のほうから、本日初めてこの総合教育会議を始めさせていただきますので、私の考えなどにつきまして、お話しさせていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

小金井市の児童生徒は、学力では全国でも上位の優秀な成績をおさめ、スポーツや芸術の分

野でも数々の賞を受賞しております。これらは、児童生徒たちの努力のたまものであると同時に、学校の先生方のご指導、教育委員会の皆様や地域、ご家庭の皆様のご尽力も大きな要因ではないでしょうか。本当にすばらしいと感じております。

そのため、教育について、基本的には、これまでの方向性を引き継ぎ、継続的に行っていただくものと考えており、引き続き山本教育長の強いリーダーシップで進めていただきたいと思います。

そういった中で、私の教育に対する考えを述べさせていただきたいと思います。

現代社会は、グローバル化、情報化、少子化、高齢化、社会全体の高学歴化などを背景にした、いわゆる「知識基盤社会」の到来によって、社会構造の大きな変動期を迎えているところでございます。これからの子どもたちは、これらの社会変化に対応し、それぞれの子どもの実態に応じてたくましく生き抜くことができる力を身につける必要があると考えております。

そのためには、本市の教育のよき伝統を守りつつ、時代の要請に応じた教育の質的転換や地域の教育力の向上が不可欠となるものと考えております。

未来の人材を育成する教育は、これから申し上げます次の3点が重要となると考えております。

1つ、既存知識の継承だけでなく、未来を創造できる高い資質能力を有する人材を育成すること。2点目、一人ひとりの子どもたちが一生を幸福に、かつ有意義に送ることができるように、一人ひとりが自ら考え、行動していくことのできる自立した個人として心豊かにたくましく生き抜いていく基礎を培うこと。3点目に、他者や社会的弱者への思いやりの心、周囲の人や自然の恵みへの感謝の気持ちを育む心の教育を推進すること。以上、3点を実現するために、これからの学校は子どもたちの知・徳・体にわたるバランスのとれた成長を目指し、保護者や地域住民と連携・協働して、活気ある教育活動を展開することが必要であり、さらに学校側からの発想だけではなく、教育を受ける側の子どもや保護者の声に応えるための対話も大切であるとと考えております。

また、学校教育のみならず、生涯にわたって学び続けることが保証される、地域の教育力を高めることも大切であります。このことが実現できるとき、本市の全ての住民の真の幸せを保証することにつながるものと考え、そのためには、大きく次の3点の取組が大切であるとと考えております。

1点目が、真の学校教育力の向上を目指すこと。2点目が、学校教育環境を整備すること。3点目が、地域の教育環境を整備することです。

まず1点目の真の学校教育力の向上を目指すこととしましては、子どもの心の教育の充実、子どもの学びの保障、子どもの体力の向上、特別支援教育の充実の取組が考えられるものでございます。次に、2点目の学校教育環境を整備することにつきましては、信頼される学校の確立、小中学校の教育の情報化と情報通信技術への対応、学校評価の充実、いじめ・不登校ゼロを目指した取組が考えられるものでございます。最後に、3点目の地域の教育環境を整備する

ことにつきましては、社会人の学習環境の整備、子どもの安全確保、食育の推進、外部指導員の活用、生涯スポーツ社会の実現の取組が考えられるものでございます。

これらの実現に向けては、今後、ますます教育委員会と市長部局の連携が重要になってくるものと考えております。繰り返しになりますけれども、教育については、教育委員会の計画を尊重し、協力・連携する姿勢でおりますので、これからも更に充実、発展させるために継続的に取り組んでいただきたいと思いますと考えております。

以上、私の考えでございます。どうぞよろしく申し上げます。

それでは、皆様からも一言ずついただければと思いますので、よろしく願いいたします。では、鮎川教育長職務代理者からお願いいたします。

**◎鮎川教育長職務代理者** 市長の、これまでの方向性を大切にしてくださるというお話や、教育委員会の取組を尊重してくださるというお言葉をいただき、本当に心からありがたく思っております。どうもありがとうございます。

市長を初め、市長部局の皆様も、教育委員会を応援してくださっており、ありがたく思います。

市長のお考えを伺い、まず一番心に残ったこととしては、いじめ、不登校ゼロというお言葉がありました。小金井市は、不登校率等が大変低いということではありますが、やはり低いとはいえ、1人でも、その方は悩まれているので、ゼロという目標というのは、私自身も目指していきたいと思っているところです。先ほど、質的展開というお言葉もありましたが、まさに教育も含めて、社会が激動の時代の真ただ中かと思えます。

市長の最初のお言葉にグローバル化、そして情報化とありました。オリンピック・パラリンピックに向けてだけではなく、世界中がグローバル化に向けて進んでいます。また情報化も日々技術は進歩し、変わっていくことと思えます。私自身はシステムエンジニア出身で、小金井の学校教育にも、情報教育アドバイザーやコンピュータ管理という形で学校に入らせていただいたことがありました。その十何年前と比べても、学校を取り巻く情報化の環境は大きく変わってきております。転換をしつつ、変えるべきところは変える。でも、守らなくてはいけないところは守るということを、山本教育長が大切にしてくださっていると思って、信じてついでいこうと思っています。

大変ざっぱくではありますが、市長のお考えに添えるように、微力ながら、小金井の教育に、少しでもお役に立ちたいと思えます。よろしく願いいたします。

**◎西岡市長** ありがとうございます。

続きまして、福元委員、お願いいたします。

**◎福元委員** 私は、2つ心に残りました。教育委員会の計画を尊重して連携しながらやってくんだよということを言ってくくださったのが1つ。もう1点は、全体から感じたことなんです。小金井市の教育の取組の内容を、かなり好意的に受けとめてくださっているんだなのを感じました。これできっと連携がいい方向で進んでいくのかなと思って、喜んでいるとこ

ろです。よろしくお願ひします。

◎西岡市長 続きまして、渡邊委員、お願ひします。

◎渡邊委員 私は、小中学校も非常に地域の環境がいいという話ですけども、協力していただく方が多くて、私自身、小中学校が小金井だったんですけど、全く今は違いますね。非常にいい環境で勉強しやすいし、先生も優秀な方がいるということで。それからスポーツ関係、音楽関係、ものすごく立派です。行くと、いつも元気をいただいて、子どもから、励まされて帰ってきます。それとまた別に、それで育っていった後、大人になって、どういうことになっているのかなということで、生涯学習の観点から考えますと、市長に協力していただいているのかと、倫理法人会とか作っていただいたんですけど、そういうことで、朝の会ができて、昼ですと、勉強とはまた違いますけど、ロータリークラブとか、夜ですと青年会議所とかライオンズさんとかあるんですけど。それで大体24時間ですか、大体網羅されたということで、勉強する場、生涯学習の場がそのほかにもたくさんあるんですね。勉強というのは、別に学校の勉強だけでなく、社会勉強とかもいろいろ含まれると思いますけれども、そういった環境整備というのはかなりできてきているのかと思います。あと、今度、質の問題ですか、中身の問題と申しますか、その辺を市長のお力で充実するよう協力していただければと思っています。

それから、今のお子さんは非常にいい環境で育ってきているので、言葉は悪いんですけど、あんまり免疫がない状態を出してしまうと、社会が、よければいいんですけど、必ずしもいい状態とは限りませんので、実社会に出たときに戸惑うこともあると思っています。その辺の何かうまい方法があればと前から考えているんですけど、なかなかいい案が浮かばないんですが、そういうことでよろしくお願ひいたします。

◎西岡市長 岡村委員。

◎岡村委員 この間、教育の日に講演会に行ったんですけど、すごくコンピュータのことで、先生方、よくうまく使って教材に使うということと、逆に子どもたちがラインとか使って、いろんないじめの問題とか起こっているということを教えてもらいましたが、ほかの区と比べたら、すごく環境がいいのかなと思いました。

小金井って、本当に地域の力とか生涯学習の力を持ってらっしゃって、それがすごくいいと思うのが、例えばラインとかでいじめられたりとか、以前だったらお友達が遊びに来たりとか電話がかかってきても、大体子どもの友達とかわかっていたのに、今、皆さんはわからないことが多いんだそうです。それでいきなり、自分の子どももそうですけど、例えば貧困に悩んでいる子とか、私たちが若いときは父子家庭のおうちの人のお弁当とかは、かわりばんこに作っていたりしたけど、そういうことは小金井では起こり得るかもしれない。他の区では起こり得ないと思うんです。なので、地域が学習力があって、地域の人たちがみんな教養が高くなって、それでみんなで仲よくなっていけば、本当にそういうこともなくなるので、小金井のように地域の力を信じて、それで生涯教育したりとか、とても学校の今にとってはすごくありがたいことだし、それをずっと続けていきたいなと思っています。

◎西岡市長 ありがとうございます。

では、山本教育長、お願いいたします。

◎山本教育長 教育委員さんたちのお話と重複するかもしれませんが、お話をしたいと思います。

先ほどの西岡市長のお話を伺って、大変広い視野、そして高い識見に基づくお話で、大変感銘を受けました。また、本市の教育委員会の方針に沿って連携していきたいというお話も伺って、心強い気持ちであります。

私は、さまざまなところでいろんな方から、小金井市の教育は何でそんなにいいんだというように聞かれることがあります。そのときに、やはり家庭が非常に落ち着いていることが一番でしょうと答えております。それから、静かで緑豊かな生活環境がいいですよということ、それから健全育成やスポーツ指導、文化指導等で地域の方々が非常に子どもたちの教育にかかわってくださっている。そういう状況の中で、子どもたちが非常に落ち着いているからこそ、学校の先生たちも、生徒指導にエネルギーをかけるんじゃなくて、子どもたちの学力、行事、部活の指導等、本来の仕事に力を入れているので、総合的に小金井市はいいんですよという話をさせていただいております。

この質の高い小金井の教育を維持していかなければならないと、これがまず何ととっても第一の目標として、教育委員会も学校を支援していきたいと思っておりますので先ほどの市長のお話があった環境づくりの、予算も含めて、ご支援をいただければ大変ありがたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

また、生涯学習につきまして、市民の方々の文化活動、スポーツ活動、それから公民館のさまざまな学習活動というのも非常に質が高く活発な状況があると思います。

ただ、議会などでも図書館や公民館については中長期計画がどうなっているのか等の、質問をいただいておりますので、社会教育委員会さんのご意見とか公民館運営審議会や図書館協議会等での検討を参考にしながら、一層の充実に努めていきたいと思っておりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

◎西岡市長 私が小学校時代のことを考えると、担任の先生の存在というのが本当に大きいと思います。私の場合は、寄り添ってくれた感じの先生だったんですね。何かあるとすぐ自宅にまで駆けつけてくれるような先生で、子どもながらに愛されているんだなと思いました。教育の世界というのはこんなことが大事と思いますが、やっぱり学校での担任の先生の存在、担任と生徒の関係というのは、非常に大切なのかなと思っています。

◎山本教育長 皆さんから、小金井の教育は素晴らしいと、私も含めてお話をさせていただきましたけれども、ぜひ運動会、合唱コンクール、卒業式、入学式等々、実際の子どもの姿を、すばらしさをごらんいただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

◎西岡市長 先日も、貫井南町東自主防災会主催の防災訓練が南中で開催され、南中の生徒さんたちが、40人から50人ぐらい参加をされていて、とてもいい現場を校長先生に見せてい

いただきました。地域と本当に融合しており、それから防災教育についても、避難だけではなくて、避難所でどうやって自分たちが役割を果たせるのか、倒壊家屋をどうやったら撤去することができるのか。中学生ともなれば、今回は避難するだけじゃなくて、自分の身の安全、家族の安全を確認できたら、それぞれが分担して役割を果たしていました。数多くの現場をぜひ見に行きたいと思っております。

また、その後、南中の吹奏楽の方々が練習をされていて、僕はレコードでも流しているのかなと思うぐらい、とても上手な演奏で、校長先生に、「いい音楽流していますね」と言ったら、「何言っているんですか、市長、これは演奏しているんですよ」と言われて、早速吹奏楽の方々に練習場所も見せていただいて、非常に頑張っている生徒の姿に大変感動しました。

この南中が一例ですけれども、地域との交流・連携の様子を見せていただき、本当に、小金井の誇りであり、とても大切だなと思います。

それでは、最後に申し上げたいと思います。教育については、教育委員会の教育目標及び基本方針並びに今年度策定予定である第3次小金井市生涯学習推進計画、第2次明日の小金井教育プラン、さらに市において策定した、小金井市教育・文化の振興に関する総合的施策の大綱を尊重し、応援してまいりたいと考えております。

今後も、市長部局と教育委員会とで協力・連携して、本市の教育をさらに充実・発展させてまいりましょう。どうぞよろしく願いいたします。

それでは、本日の会議はこれで閉会といたします。ありがとうございました。

(午後1時35分閉会)